

2020 年度事業報告書

認定特定非営利活動法人こむの事業所

1 事業の成果

新型コロナウイルスは、食事サービスおよび市場の売り上げに大きな影響を及ぼすとともに、感染予防のためにすべてのスタッフが多大な努力を強いられた。ただその中で、本来の使命である障害者スタッフの仕事の確保を優先して取り組んだことにより、仕事へのモチベーションや職能の維持を果たすことができた。しかし、感染は予断を許さない状況にあり、新年度に向けても引き続き緊張を維持することが求められている。

そのような状況ではあったが、国県の様々な助成を得るとともに、一般就労を果たしたスタッフにかかる報酬の加算を得るなど収益増があり、2020 年度は黒字の決算とすることができた。その一方で、就労支援事業は赤字であり、障害者スタッフの賃金に給付費を充当する結果となった。

課題となっている就労継続支援事業の収益確保のためには、新たな給食提供施設や施設清掃の受託にチャレンジしたが結果を出すことができなかった。

障害者スタッフの一般就労に向けては、トライアル雇用などの制度を活用した取り組みや関係機関と連携した求職活動などに取り組み、1 名の一般就労を果たした。

住居支援においては、自宅での家族ぐるみの引きこもりの影響と考えられる、家庭内暴力からの避難としての利用が見られるなど、シェルターとしての役割を大きく果たした一年であったが、利用増とともにスタッフへの負担が大きくなっており、住居運用の改善が課題となっている。

なお住居が広く周知されるようになったことから、秘匿性を確保することが難しくなっており、新たなシェルターの確保が必要となっていること及び農福連携事業設備等に備えるための寄付を財源とする基金を設置した。

(1) 障害者スタッフの一般就労

① 就労者への継続的支援

一般就労を果たした人たちへの、面談等による支援を継続的に実施しながら、雇用先の事業所への助言等を行い、就労後の安定をサポートしてきたことなどもあり、ほとんどの人がそれぞれの職場に定着している。

② 一般就労へのチャレンジ

施設外支援の制度を活用しながら、受け入れ先ではトライアル雇用制度を活用した取り組みを行ったが結果にはつながらなかった。

そのほか、就労継続支援 A 型サービス利用の年齢制限のために利用契約を解除せざるを得なかったスタッフの求職活動にハローワークと連携して取り組み、本人の努力もあり、一般就労を果たすことができた。

(2) ビル管理事業

① 宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター等公共施設清掃の受託

事業着手から10年を経て、品質の維持や作業の効率化への取り組みが着実に成果を上げており、新たな公共施設の清掃受託の確保に向けて宝塚市の契約担当及び障害者雇用促進担当と協議を開始した。

② マンション清掃の請負

民間マンションの清掃を本格的に開始し、スタッフの午後の仕事の開発や収益の確保につながっている。

③ 駐車場管理

新型コロナ感染予防対策のため、プレミア宝塚及びびらざこむ1が臨時的に休館となり、収益が大幅に落ち込んだが、業務は、ほぼ通常どおりに行うことにより、障害者スタッフの仕事の確保に努めた。

駐車場ゲートの設備が設置後10年を超えており、レシート発券機や監視カメラのトラブルが頻発するようになってきており、計画的な補修が必要になっている。

(3) 食事サービス事業

① レストラン「こむず」の営業と障害者スタッフの定着

新型コロナウイルスの影響を最も受けた事業であったが、座席数を半分にし、加湿器の導入や換気対策など感染防止に努めながら、隣接施設の閉鎖期間には、テイクアウトメニューを開始するとともに市民団体との協力により子ども食堂への弁当の供給を行った。

② 給食受託及び配食事業

2020年10月から社会福祉協議会が運営する光明デイサービスの給食を試行的に受託実施したが、365日の運営やサービス現場とのすり合わせの不調のためいったん中断し、再検討を行うとともに他の受託先も含めて事業の拡大を目指すこととしている。

びらざこむ2の建て替え整備にともない、めふプラザが、かしの木工房の隣接地で仮設運営されることになり、かしの木工房こはまの給食と併用実施するとして、委託の終了を告知されている。

この事業は、こむの事業の基本事業の一つであり、事業所そのものの持続にかかわることから、委託の継続を強く訴えることとしている。

③ 菓子製造その他

有限会社クルーズとの連携事業として取り組んでいる宝塚フィナンシェの製造販売が順調に推移しており、宝塚の土産品として着実に定着している。

その他、戎神社の縁起物の面描きも実績をあげ、新たにマスクの封入等の作業にも取り組んだことにより、障害者スタッフの労働時間の拡大が進みつつある。

(4) こむの市場事業

① 生鮮野菜・加工食品の販売

2020年度は店舗での大幅な売り上げの減少に見舞われたことから、少しずつ外部販売にシフトしつつある。

(5) システム開発事業

① システム開発

現在1名の障害者スタッフが従事しているシステム開発について、納品したシステムのカスタマイズの実績となっており新規の受注が得られなかった。

(6) その他

① 住居利用

2020年度は、自立生活を目指した利用のほか、リモートワークの影響もありひっ迫した緊急度の高いシェルターとしての利用が多くなされ、その年間の利用実績は、16件634日となっている。

なお住居が広く周知されるようになったことから、秘匿性を確保することが難しくなっており、新たなシェルターを確保するための基金を設置し、寄付を広く呼びかけている。

② アトリエの利用

現在アトリエについては、システム開発及びエビス面描き作業場のほか就業後の障害者スタッフの休憩と帰宅待機の間として活用している。

③ 研修室、教室の利用

新型コロナウイルスの広がりから近接施設の休館等の影響及び兵庫県の集会施設の利用停止要請により、1階研修室、2階教室の利用は大幅に減少した。

④ 障害者就労・生活支援センター事務所貸付

社会福祉法人宝塚さざんか福祉会が宝塚市の委託を受けて運営する障害者就業・生活支援センターについては、障害者等の就労について、2020年度は5,740件の面談による相談を実施し、61人が就職した。

⑤ 成年後見センター事務所貸付

NPO 法人宝塚成年後見センターが行う高齢者・障害者の法人後見等について、2020年度は面談をはじめ福祉サービス利用支援など1,513件の支援サービスを行ったほか16人の法人後見を行った。

2 事業実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	ビル管理事業	通年	宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター、こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-8、9 宝塚市立健康センター 宝塚市小浜 4丁目 4-1 宝塚市立口腔保健センター 宝塚市小浜 2丁目 1-30 福祉コミュニティプラザ駐車場 宝塚市売布東の町 9 番地内	19 人	障害者 13 人 就労要支援 6 人	20,096
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	食事サービス事業	通年	宝塚育成事業所内厨房 宝塚市安倉西 4-1-7 こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	9 人	障害者 8 人 就労要支援 1 人	32,800
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	こむの市場事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	2 人	障害者 2 人	10,158
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	システム開発事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	障害者 1 人	1,559
障害者等の地域移行及び一時的に住まいの困難を抱える人への住居支援に関する事業	住居支援事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	16 件	2,474